

IRIS

Fact Book

2024.04-2024.09

会社概要

株式会社IRISは、2016年6月に、タクシーアプリ『GO』などを手掛けるGO株式会社と、インターネット広告技術企業として国内初DSPベンチャーとなった株式会社フリークアウト・ホールディングスの合併会社として設立されました。

IRIS

MOBILITY INNOVATION



×

AD TECHNOLOGY



オフィス	本社 〒106-0041 東京都港区麻布台一丁目3番1号 麻布台ヒルズ森JPタワー23階
事業内容	サイネージメディアの開発および広告の販売
資本金	1,000万円
株主	GO株式会社 株式会社フリークアウト・ホールディングス



モビリティ領域のマーケティング活用を推進し、事業拡大してきました。

- 
- 2016年6月** 株式会社IRIS設立
タクシーメディア「Tokyo Prime」東京23区で販売開始
 - 2020年10月** Premium Taxi Visionと統合
 - 2022年1月** 「デジタルサイネージメディア共同事業」開始
 - 2022年6月** タクシーラッピング広告「タクシール」販売開始
 - 2022年7月** 「デジタルサイネージメディア共同事業」第1弾
ヘリコプターサイネージ提供開始
 - 2022年10月** 「デジタルサイネージメディア共同事業」第2弾
ゴルフカートサイネージ販売開始
 - 2024年4月** タクシーメディア「TOKYO PRIME」
リブランディング

PRIME MEDIA で人と産業に新たなきっかけを

株式会社IRISは、TOKYO PRIMEをはじめとしたメディアを通じて、メディアに触れる方々、そしてメディアに関わってくださる産業に新たな気付き・出会い・きっかけを作っていきたいと考えています。





代表取締役社長

眞井 卓弥
Takuya Sanai



代表取締役副社長

宇木 大介
Daisuke Uki



取締役CTO

眞壁 清太郎
Seitaro Makabe



取締役CFO

谷澤 達郎
Tatsuro Tanizawa



代表取締役社長

眞井 卓弥
Takuya Sanai

2011年ヤフーに新卒入社。eコマース部門と経営戦略部門などを経て、デジタルコンテンツ領域の事業企画部長や子会社社長室長を担当。

2019年JapanTaxi（現・GO株式会社）にジョインし、現在はGOの新規事業管掌の執行役員およびグループ会社IRISの代表取締役社長を兼任中。

略歴

- 2011年 04月 ヤフー株式会社 入社
- 2018年 04月 同社 コマースカンパニー 事業推進室 部長 就任
- 2019年 11月 JapanTaxi株式会社（現・GO株式会社） 入社
- 2020年 05月 株式会社IRIS 代表取締役社長 就任（現任）
- 2021年 10月 GO株式会社 執行役員 就任（現任）



代表取締役副社長

宇木 大介
Daisuke Uki

早稲田大学工学部情報工学科を卒業後、1999年インフォコム株式会社に新卒入社。エンジニア、営業、マーケティング業務、資本出資を伴う事業提携やM&A実務等を経験。2019年フリークアウト・ホールディングス入社。

現在はフリークアウト・ホールディングスの執行役員としてデジタルサイネージ事業の統括およびグループ会社IRIS、Ultra FreakOutの代表取締役社長を兼任中。

略歴

- 1999年 4月 インフォコム株式会社入社
- 2006年 7月 ホワイトパジャマ・ジャパン株式会社 取締役就任
- 2013年 4月 株式会社イストピカ 執行役員CFO就任
- 2019年 8月 株式会社フリークアウト・ホールディングス入社
- 2019年 8月 株式会社IRIS 代表取締役副社長就任（現任）
- 2020年 10月 株式会社フリークアウト・ホールディングス 執行役員就任（現任）
- 2020年 10月 Ultra FreakOut株式会社 代表取締役就任（現任）



取締役CTO

眞壁 清太郎
Seitaro Makabe

2007年株式会社ドワンゴに新卒でソフトウェアエンジニアとして入社。ニコニコ動画やニコニコ生放送のシステム開発および開発チームのマネジメントなどを担当。

2019年フリークアウト・ホールディングス株式会社に入社、同時に株式会社IRISにジョインし今に至る。

略歴

- 2007年 4月 株式会社ドワンゴ 研究開発本部
- 2008年 2月 株式会社ドワンゴ ニコニコ事業本部
- 2014年 4月 株式会社ドワンゴ ニコニコ事業統括本部
- 2019年 1月 株式会社フリークアウト・ホールディングスIRIS Division
- 2021年 6月 株式会社IRIS 執行役員CTO
- 2021年 9月 株式会社IRIS 取締役CTO



取締役CFO

谷澤 達郎

Tatsuro Tanizawa

これまで一貫してメディア営業・販売支援・商品企画に従事し、海外のデジタルプラットフォームから専門サイト、出版メディアまで数多くの媒体を歴任。国内最大手広告代理店のデジタルメディア関連局にも長く出向し同様にメディア担当業務に就く。

2019年株式会社ディー・エヌ・エー でタクシーサインージ広告部門を担当し、2020年Mobility Technologies合流後、同年9月より現職。

略歴

- 2001年 4月 株式会社日音 入社
- 2006年 4月 株式会社サイバー・コミュニケーションズ 入社
- 2019年 8月 株式会社株式会社ディー・エヌ・エー
オートモーティブ事業本部 入社
- 2020年 4月 株式会社Mobility Technologies 入社
- 2020年 7月 株式会社IRIS 執行役員VP of Sales
- 2020年 9月 株式会社IRIS 取締役

事業概要

タクシーメディア『TOKYO PRIME』



TOKYO PRIME は



に。

2024年4月以降、タクシーメディア『TOKYO PRIME』はリブランディングを行い「まだ見ぬPRIMEに出会える18分」をコンセプトに、乗車体験と広告価値の向上を目指します。



東京および、国内で設置台数No.1 (※)の タクシーメディアです。全国35都道府県に展開しています。

※出典：タクシーメディア各社の媒体資料記載の台数比較より。2024年4月時点



サイネージ導入台数 **70,000** 台 (東京 約 **25,500** 台)



月間リーチ数 **35,000,000** 人 (東京 **15,000,000** 人～)

全国 **35** 都道府県に展開

札幌	約2,100台	京都	約3,600台
東京	約25,500台	大阪	約9,100台
神奈川	約8,100台	神戸	約3,300台
埼玉	約3,000台	福岡	約2,400台
千葉	約3,000台	沖縄	約500台
名古屋	約4,000台	その他*	約5,400台

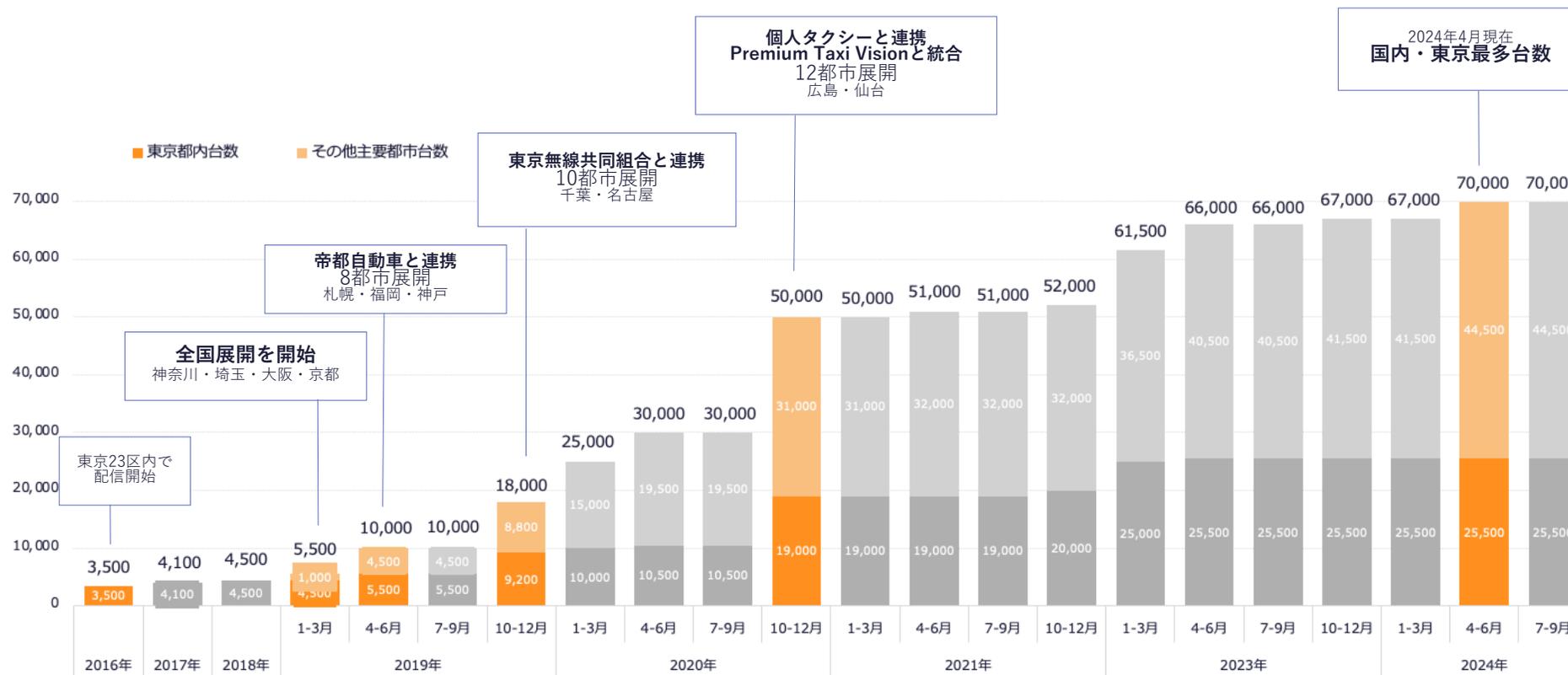
*北海道（札幌を除く）、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県（名古屋を除く）、三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、広島県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、熊本県





設立8年目で70,000台まで設置台数を拡大し、日本最大^(※)の設置台数を更新し続けています。

※出典：タクシーメディア各社の媒体資料記載の台数比較より。2024年4月時点





東京、神奈川、埼玉、千葉、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡の各エリアではおよそ2台に1台以上のタクシーに搭載されています。

	法人タクシー台数	TOKYO PRIME	
		搭載台数	割合
全国	175,425	70,000	39.90%
北海道(札幌市)	4,555	2,100	46.10%
東京*	41,005	25,500	62.19%
神奈川	9,600	8,100	84.38%
埼玉	5,668	3,000	52.93%
千葉	5,687	3,000	52.75%
愛知(名古屋市)	5,232	4,000	76.45%
京都(京都市)	5,590	3,600	64.40%
大阪(大阪市)	12,294	9,100	74.02%
兵庫(神戸市)	4,826	3,300	68.38%
福岡(福岡市)	4,406	2,400	54.47%



※<タクシー台数出典>一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会『ハイヤー・タクシー年鑑 2023』（令和4年3月31日現在）

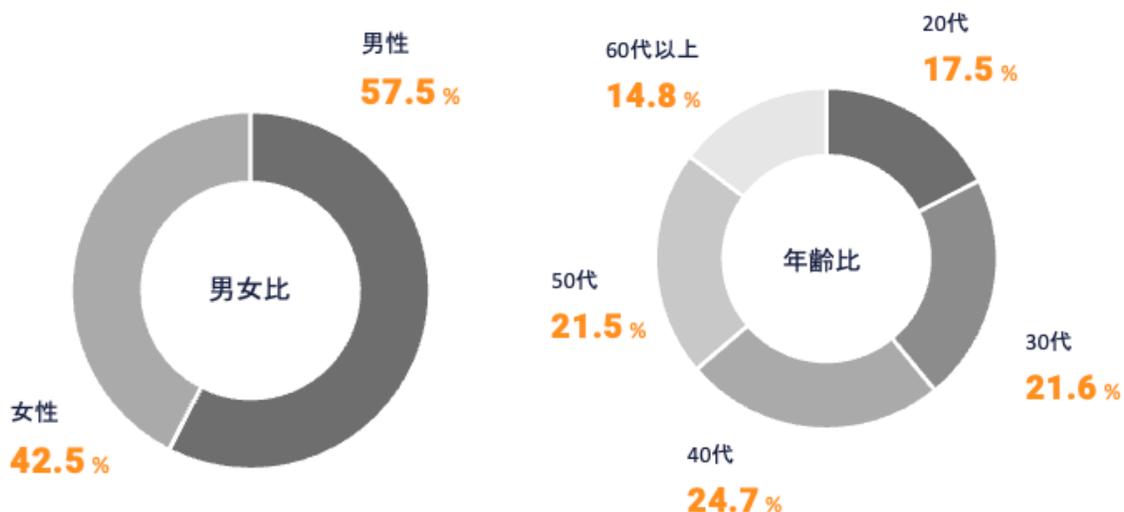
*東京は個人タクシーを含む

TOKYO PRIME デジタルサイネージ搭載台数：2024年4月時点

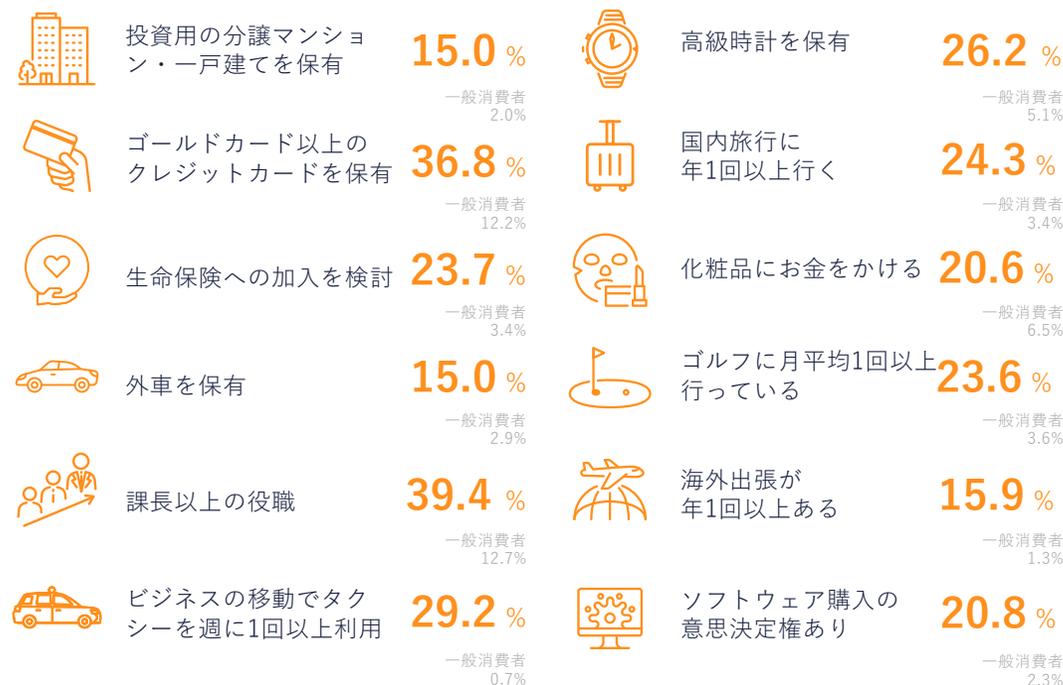


タクシーは全国主要都市において、性別、年齢を問わずに利用されています。
また多くの富裕層・ビジネス層をターゲットとするマーケティング施策が可能です。

ユーザー属性



タクシー利用者の特徴

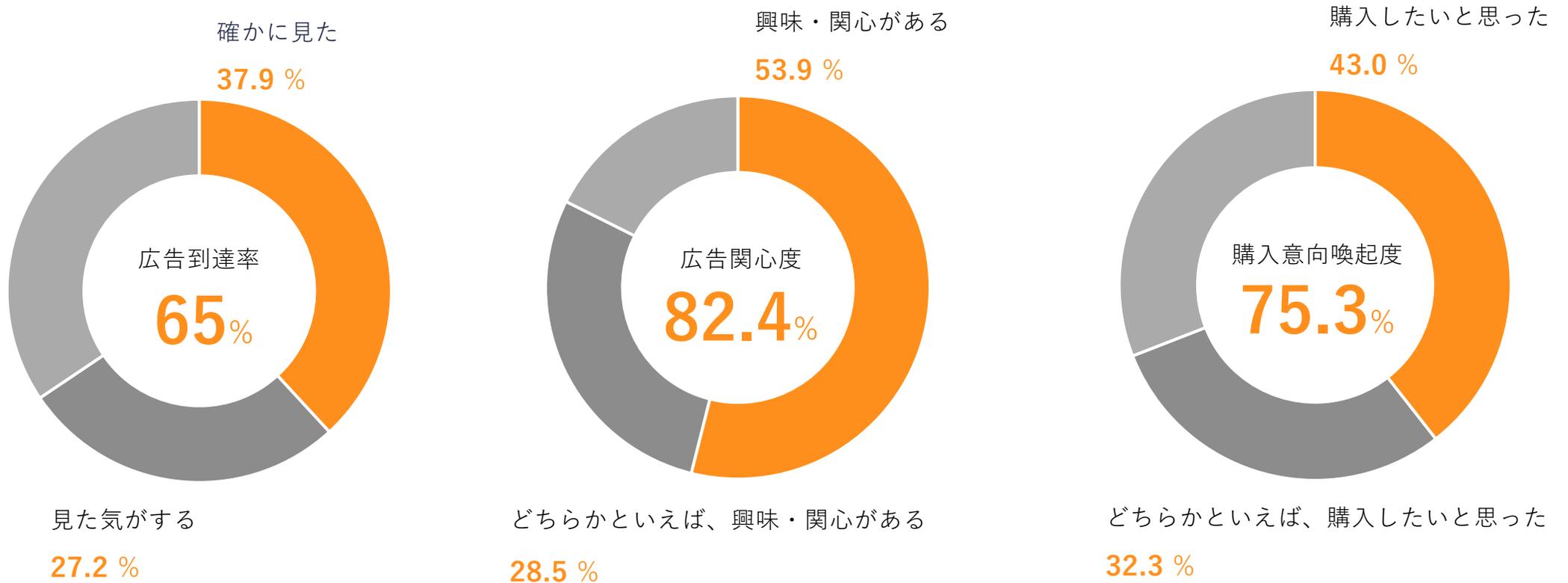


※モニタアンケートによるタクシー利用者調査, 2023年5月 ※期間: 2023年5月 ※手法: インターネット調査。

※対象: 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、福岡県、北海道在住の方で月2回以上東京、愛知、大阪、福岡、北海道でタクシーを利用する20歳以上の男女:1,489人



プライベート空間かつ、視認性も高く非常にブランディング効果が高い媒体です。
タクシーだからこそ実現できる広告コミュニケーションです。



※モニタスアンケートによるタクシー利用者調査, 2023年5月 ※期間: 2023年5月 ※手法: インターネット調査。
※対象: 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、福岡県、北海道在住の方で月2回以上東京、愛知、大阪、福岡、北海道でタクシーを利用する20歳以上の男女:1,489人



商業施設や経済誌、ライフスタイル誌等とコラボレーション。

都心のタクシーを利用する生活者にとって、興味深いコンテンツを届けています。

Contents Partner

Forbes^{JAPAN}

SPUR.JP

Discover Japan

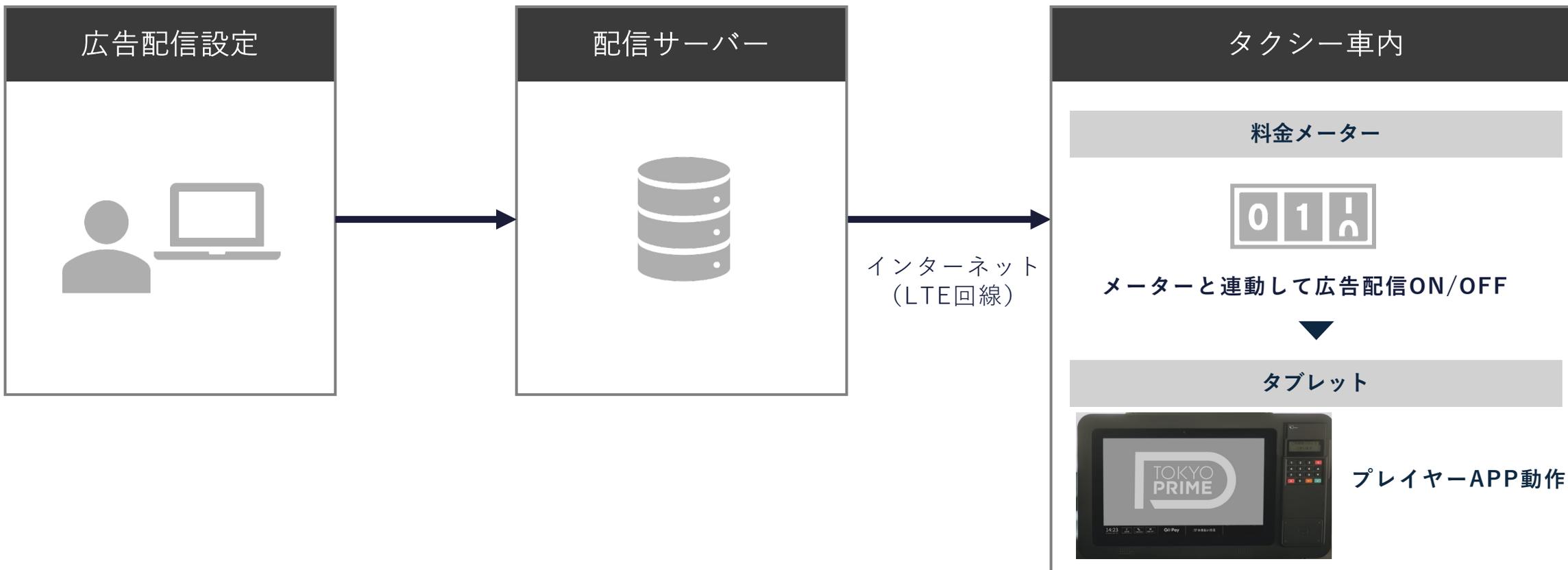
TODAY'S STORY FOR INNOVATIVE TOKYO
HILLS LIFE DAILY

MAQUIA
ONLINE

料理^{The Cuisine Magazine}通信



TOKYO PRIMEは独自でシステム開発を行なっています。



事業概要

タクシーラッピング広告『タクシール』

ヘリコプターサイネージメディア『Aviation Channel』

ゴルフカートサイネージメディア『Golfcart Vision』

773-IL

タクシーのドア横ラッピングをわかりやすい価格設定で安価に実施することが可能なサービスです。TOKYO PRIMEのサイネージが設置されたタクシー車両にラッピングを行うので、TOKYO PRIMEと一緒に実施をすることで乗車前、乗車中のセットでリーチが可能です。

乗車前



乗車中



Aviation Channel

運用型テレビCMプラットフォーム「テレシー」を運営する株式会社テレシーと、ヘリコプターをはじめとした空のインフラを構築、提供するSpace Aviation 株式会社の2社と、IRISが共同で作りに上げたメディアです。IRISが広告配信システムの開発、運営、サイネージ端末の供給、テレシー社が総販売代理店として広告商品企画、営業活動を行い、Space Aviation社が媒体社としてサイネージ端末の設置・運用を担います。



設置場所

- ・東京、関西、九州、沖縄
- (※2023年10月現在)順次全国へ拡大予定

稼働時間、リーチ人数

- ・月間稼働時間 200時間(20時間/1機)
- ・平均移動時間 約15分
- ・月間リーチ人数 1,500人(150人/1機)

搭乗目的

- ・遊覧
- ・ビジネス
- ・リゾート

GOLFCART VISION

ゴルフカートナビ国内シェアNo.1^(※)の株式会社テクノクラフトと協業し、ゴルフカートの後部座席にサイネージを設置した全く新しいメディアです。

首都圏近郊の良質なゴルフ場にある4人乗りゴルフカートの全台にデジタル・サイネージを設置し、首都圏のゴルフプレーヤー・富裕層の乗車時間60分～90分にアプローチします。



設置台数
約4,350台

月間リーチ人数
約261,000人

カート乗車時間
60～90分

端末サイズ
10.3型IPSパネル

設置ゴルフ場数
67ゴルフ場(81コース)

- ・山武グリーンカントリー倶楽部(千葉県・45台)
- ・成田ヒルズカントリークラブ(千葉県・48台)
- ・ロイヤルメドウゴルフ倶楽部(栃木・53台・1コース) ほか

※テクノクラフトのゴルフカートナビ設置台数、設置ゴルフ場数の他社比較より